

平成30年度事業報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度は、100周年記念事業のテーマ「新しい地平へ」の目玉事業である「未来創生プロジェクト」と初代会長片岡安の名を冠した「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールをはじめ、他団体や協会以外の活動との連携も積極的に行い活動のリンケージを広げるとともに、従来から実施している「建築と社会」誌の発行、講演会の開催、見学会や顕彰事業の実施、刊行物の発行などに取り組んだ。

平成30年度収支は、会費収入が予算額を上回った。事業収支は契約約款収支や出版委員会収支が大きな増収増益となった反面、会誌収入が大幅に落ち込んだことから、それ以上の赤字となり予算額を大きく下回った。

管理費は退職給付引当資産から支払った退職給付費用を除き、予算額を下回った。

記念事業収支は、平成30年度に執行予定であった「建築と社会」誌アーカイブ公開システム構築費用、新会員証作成費用、新リーフレット作成費用等が令和元年度の執行となったため、記念事業積立金は令和元年度に取り崩すこととした。

全体では、会誌収支の大きな赤字はその他の事業収益と管理費の削減により大幅に縮小した。

I 本 部

◎役員会等の開催状況

1. 総会、理事会、評議員会、常任理事会

定時総会 平成30年6月21日（木）

- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
- ②常設委員会新設
- ③平成30年度事業計画・収支予算計画
- ④役員改選

第1回 通常理事会 平成30年6月5日（火）

- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
- ②常設委員会新設
- ③平成30年度事業計画・収支予算計画
- ④役員改選

第2回 通常理事会 平成30年11月28日（水）

- ①平成30年度上半期事業執行状況

第1回 臨時理事会 平成30年6月21日（木）

- ①役付役員選任
- ②常任理事ならびに常設委員長の委嘱
- ③理事の会務分掌

定時評議員会 平成30年6月5日（火）

- ①議長改選
- ②役員推薦

常任理事会 8 回開催

- ①理事会提出議案の作成、理事会議決事項の処理
- ②協会の会務執行 など

会長、副会長、常任理事、支部長会議

平成30年11月28日（水）

- ①平成30年度上半期事業執行状況
- ②意見交換

2. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、常設委員会を設置している。今年度は100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、次世代を担う若手が積極的に参加する場「未来創生プロジェクト」を新たに立ち上げた。

(1) 編集委員会

協会の会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集委員会を設置している。編集委員会は特集小委員会、作品作風小委員会、広告企画小委員会の3つの小委員会で構成している。

更に特集小委員会は計画分科会（計画系、建築計画系、インテリア・住宅系）と構造分科会、設備分科会、施工材料分科会、法令分科会の5つの分科会に分かれている。編集委員会を12回、特集小委員会を48回、作品作風小委員会を9回、広告企画小委員会を12回開催した。

(2) 事業委員会

見学会や講演会、研修会などを企画する情報見学小委員会を8回開催し見学会を4回、講演会を1回実施した。今年度は昨年度に引き続き「イケフェス大阪」との連携事業を10月27日（土）に実施した。

(3) 出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行うため、11回開催した。今年度はシリーズものに加え新たに中国語版を刊行した。

(4) 教育委員会

建築工事実務講習会の実施のため講習会小委員会、工高生のデザインコンクールを開くための工

高生教育小委員会、100周年関連事業委員会の解消に伴い教育委員会に移行した史料研究会を運営している。工高生教育小委員会、講習会小委員会を3回開催した。

史料研究会を6回開催し、過去に「建築と社会」誌に掲載した「再読 関西の近代建築」及び「再読 関西近代建築—論考・記事編」で扱えなかった建築や再発見が待たれる建築などを紹介する「再読 関西の建築」の連載を5月から再開した。

また、大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり普及協議会」に協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、「建築次世代委員会」、「2040委員会」、「U-35委員会」の3つの委員会で構成している。

建築次世代委員会は、10年委員会の「学生のための現場見学会」を継承し、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため委員会を発足させ、12回開催した。学生のための現場見学会を1回実施した。

2040委員会は、日本建築協会が100年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代（Next Generation）」の想いを集結させ、「次代（Next Era）」が創造的で魅力的なものとなるべく、これからの「建築と社会」のあるべき姿を思考（志向、試行）することを目的に11回開催し、大学教授や建築ITジャーナリストなど様々な分野の方との意見交換会を7回実施した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し16回実施するとともに、U-35世代の交流の場になる公開型イベントaction「建築と未来」を1回、委員相互の勉強会としてトークバトンを2回開催した。

3. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、4つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から満35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を4月16日（月）に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、昭和30年創立以来毎年実施してきた。10月13日（土）に審査委員会を開催し11月10日（土）に表彰式を実施した。

(3) 「建築と社会」賞選考委員会

「建築と社会」に掲載された前年の作品、記事の中から社会性、環境などに配慮した建築作品や建築にかかわる論文や記事などを顕彰するため、選考委員会を5月21日（月）に開催した。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

平成30年度は100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、論考の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会を3回開催した。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」は、大正6年の創立以来協会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結ぶ役割を果たしている。毎月発行し会員の手に届けている。平成31年3月号で通巻1164号を数えるに至った。

発行月	特 集 内 容	特集以外の 主な内容
4月号	働き方と価値：社会に繋がる多様なワークスタイル	●作品作風 ●gallery
5月号	スポーツイベントを支える設備技術	●法令コーナー
6月号	第1回片岡安賞（日本建築協会論考コンクール）募集テーマ：これからの建築と社会—その関係を問う	●構造・設備の頁
7月号	第65回青年技術者	●再読 関西の建築
8月号	平成と建築	●メンバーズフォーラム
9月号	安全安心な木造建築物の利用促進への取り組みと今後の可能性	●新製品レビュー
10月号	山と建築—そこに山があるから登るのだ！—	●インフォメーションなど
11月号	重さと関わる	
12月号	こだわりの空間料理人	
1月号	共生社会のまちづくり	
2月号	第25回会員作品“私の空間作法”京都支部創設70周年記念特集景観とまちづくり 一保全・再生・創造—	
3月号	東海支部特集	

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会を毎年開催している。平成30年度は6回開催した。

●出版委員会企画 平成30年5月16日（水） 32名

第1回建築セミナー「暮らしから考える住まいの寸法入門講座」

一級建築士事務所スマイリズム 堀野和人

●U-35委員会企画5th action

平成30年6月2日（土） 57名

建築と未来「20年後、幸せに“すまう”」

同志社女子大学 特任教授 上田信行

京都大学大学院 講師 前田昌弘

●定時総会記念講演 平成30年6月21日（木） 60名

「大大阪モダニズムと都市の文化」

大阪くらしの今昔館館長 谷 直樹

●出版委員会企画 平成30年8月22日（水） 30名

第2回建築セミナー「雨漏り調査の対策とポイント」

一級建築士事務所「ドクター住まい」主宰 玉水新吾

雨漏り110番G 代表 唐鎌謙二

●情報見学小委員会主催 平成30年11月14日（水） 83名

JR西日本事業戦略「駅からはじまる魅力あるまちづくり」

JR西日本 創造本部副本部長 春名幸一

●出版委員会企画 平成30年11月21日（水） 35名

第3回建築セミナー「直感で理解する！構造力学の基本」

安井建築設計事務所構造部長 山浦晋弘

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。平成30年度は5回実施した。

●「奈良県農業研究開発センター及びなら食と農の魅力創造国際大学校」見学会

平成30年5月16日（水） 31名

●第1回学生のための現場見学会

「国立循環器病研究センター—移転建替整備事業」

平成30年7月9日（月） 25名

●「（仮称）デサントR&Dセンター」見学会

平成30年7月24日（火） 35名

●「大光電機株式会社技術研究所」見学会

平成30年9月19日（水） 29名

●第35回茶室見学会

「飛雲閣と茶室憶昔席の修理工事現場」

平成30年9月29日（土） 32名

4. 建築工事実務講習会の開催

昭和32年以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。平成30年度は1回実施した。

1月17日（木）参加者 57名

①施工計画

講師：川井 裕基（鹿島建設㈱関西支店パナソニック草津W15棟工事事務所所長）

講師：北野 祥児（清水建設㈱関西支店生産計画部受注支援グループ長）

②仮設見橋

講師：山口 紀宏（㈱大林組大阪本店建築事業部生産技術部計画第三課長）

5. 顕彰事業の実施

(1) 青年技術者の顕彰

昭和29年度から毎年実施している。今回は33名を顕彰した。顕彰者を称え激励するため、総会後に表彰式を行った。

●設計・計画部門 14名

太田匠哉、太田裕人、岡 隆裕、金子光亮、久家一哲、芝井健一、下田康晴、伊達 翔、鶴見博之、島海宏太、中島慎一、西山尚希、松下拓真、山崎篤史

●構造部門 7名

赤澤資貴、朝日智生、西横 毅、野口浩平、花房広哉、宮脇正尚、渡邊 祥

●設備部門 8名

小林佑輔、高根澤武、田中祐輔、中尾善弘、中山和樹、貫名篤郎、横山輝明、吉成正彦

●施工部門 4名

大川光雄、熊給哲哉、巽祐太郎、杉井 毅

(2) 「建築と社会」賞の顕彰

作品部門4点、論考部門1点、審査員特別賞1点を選び、総会後に表彰式を行った。

●作品部門

①ヤマウチ メディアイノベーションセンター

建 築 主 ヤマウチ㈱

設計・監理 ㈱竹中工務店

施 工 ㈱竹中工務店

②阿南市新庁舎

建 築 主 阿南市

設計・監理 ㈱日建設計

施 工 大成建設㈱・東光電気工事㈱

- ・(株)朝日工業社・(株)四電工
- ③コイズミ緑橋ビル
建築主 小泉産業(株)
設計・監理 (株)竹中工務店
施工 (株)竹中工務店
- ④神戸海星女子学院マリア幼稚園
建築主 学校法人 海星女子学院
設計・監理 (株)竹中工務店
施工 (株)竹中工務店
- ・論考部門
建築時間論～1000年の視野から建築を考える～
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻・教授
加藤耕一
- ・審査員特別賞
特集 社会と繋がるディテール
企画 編集委員会 特別編集委員
- (3) 優秀卒業生の表彰
優秀な建築系学科の卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため昭和27年から実施している。平成30年度は工業高校や専門学校など31校56名を表彰した。
6. コンクールの実施
- (1) 工高生デザインコンクールの実施
平成30年度で64回を数える。平成30年度はみんなの「こども食堂」を設計課題に募集したところ、26校123点の応募があり10作品11名を表彰した。
- ・最優秀賞
山崎創羽・市園祐也
- ・優秀賞
植田理子、日紫喜華乃
- ・入選
赤堀さくら、田中琴美、文淵勝哉、細川虹太、細川悠人、前川悠希、松本明莉
- (2) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施
創立100周年を迎えたのを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に立ち上げた「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、今回「建築をつくるひとーこれからの姿を問う」をテーマに募集したところ、5点の応募があり昨年11月に第1次審査を行い、3月2日(土)には公開プレゼンテーションと最終審査を実施した。
- ・片岡安賞
集団意識と建築～1910年からの問いかけ～
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻(修士課程)
吉野良祐
- ・奨励賞
「ポスト建築家」時代の建築家たち
(株)エクナレッジ 吉田和弘
- ・奨励賞
DIYとギフトエコノミー
横浜国立大学 産学連携研究員 山口 純
7. 出版物の刊行
時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書の企画・編集・刊行を行っており、昭和24年以来多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。平成30年度は、「図解 雨漏り事件簿」と同じく「図解 建築と設備の接点トラブル予防のツボ」及び「直感で理解する! 構造力学の基本」を出版した。平成29年度に出版した「図解 住まいの寸法」の中国語版を上梓するなど、海外でも注目を集めるようになった。
8. 共催、後援、協賛事業
協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。
- (1) 共催
・大阪都市景観建築賞
大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(一社)日本建築協会
- ・World Café 建築を学ぶ学生と先輩の対話
(一社)日本建築学会近畿支部
- (2) 後援
・日本福祉のまちづくり学会第21回全国大会
日本福祉のまちづくり学会
- ・これだけでわかる建築基準法
(公社)大阪府建築士会
- ・集合住宅の騒音防止設計入門
(公社)大阪府建築士会
- ・LIVING&DESIGN2018 (一社)L&D
- ・建設工事の安全・健康確保講習会
(公社)大阪府建築士会
- ・講習会「モデル建物法入力シート作成～機械設備編～」と「申請・検査のポイント」
(公社)大阪府建築士会

- ・JIA市民大講講座「2018まちづくりセミナー」
(公社)日本建築家協会近畿支部
- ・なにわ建築フェスタ2018年児童画展
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・講習会「医療施設における避難安全のバリアフリーデザインの手引き」 (一社)日本建築学会
- ・“think GLOBAL, think HONG KONG”～国際化へのパートナー：香港 香港貿易発展局
- ・卒業展2019 修正建設専門学校
- ・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会 (一社)大阪府建築士事務所協会
- ・建築物省エネ法 実務講習会+環境建築見学会
(公社)大阪府建築士会
- ・建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019
(一社)日本建築材料協会
- ・第6回福祉住環境サミット
(一社)福祉住環境アソシエーション
- ・講習会
①建築紛争における法的措置とその対応策2019
②総合図作成ガイドライン解説
③木造ホテルの耐震改修講習会 一志摩観光ホテルと奈良ホテル
- ④大江一夫の設計術を学ぶ 一夙川から六麓荘の実作を巡りながら
(公社)大阪府建築士会
- ・講習会「木質系大スパン建築物の可能性」
(公社)大阪府建築士会
- ・建築学生ワークショップ出雲2019
(NPO) アートアンドアーキテクトフェスタ
- ・講習会「災害時における事業継続が可能な建築物の対策」 (公社)大阪府建築士会
- ・ぶらり大阪「景観」ウォーク浪速区編
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・「暑中コン工事対策マニュアル2018」改定報告会
(一社)日本建築学会近畿支部
- ・講習会「これだけでわかる建築基準法」
(公社)大阪府建築士会
- ・シンポジウム「銅スラブ細骨材を使用したコンクリートの動向と研究の現状」
(一社)日本建築学会近畿支部
- (3) 協賛
・平成30年度「住生活月間」
住生活月間実行委員会
- ・平成30年度(第28回)大阪府公共建築設計コンクール「あすなろ夢建築」
大阪府、(公社)大阪府建築士会、大阪府住宅供給公社
- ・「Japan Home & Building Show2018」
(一社)日本能率協会
- ・建築・建材展2019 (株)日本経済新聞社
- ・市民公開講座「地震被害低減に向けた役割と責任を考える～ブロック塀倒壊による悲劇を繰り返さないために～」(一社)日本建築学会近畿支部
- ・地盤工学会関西支部60周年記念事業
(公社)地盤工学会関西支部
- ・セミナー「建築物の瑕疵をめぐる法的問題について」
(公社)ロングライフビル推進協会
- ・Japan Home & Building Show2019
(一社)日本能率協会
9. 「建築と社会」誌創刊号からのアーカイブ化
「建築と社会」誌に掲載された貴重な資料の容易な閲覧を目的として、創刊号に遡って電子化し、全文を本会会員に向けて無料公開するアーカイブ化については、課題の整理やサービス範囲など具体化に向けての検討を行った。
10. 建築関係団体等との交流、連携
- (1) 在阪建築4団体との連携
在阪建築4団体(大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)は、一致協力して大阪を元気にする文化活動「ARCHITECTURE CITY」を行ってきた。その一環として大阪から関西を発展させるための提言を議論、策定する委員会を立ち上げ、日本建築協会からは4人の委員を派遣し策定に取り組んだ。
- 他に在阪建築4団体インターンシップに引き続き協力、参加した。また、「大規模災害発生時における被災建築物応急危険度判定・被災住宅危険度判定活動に必要な判定士の派遣協力に関する協定」に基づき、6月18日の大阪府北部を震源とする地震に対し応急危険度判定士を派遣するとともに、4団体協力事業として当該地震でブロック塀が倒壊し死亡事故が発生したこと、要請のあった「学校及びその周辺の安全チェック・ボランティア」の募集に協力した。
- (2) イケフェス大阪等との連携
まちなみや通りをめぐり、個々の建築や都市の成り立ち、歴史を感じ取る生きた建築ミュージアム

- ムフェスティバル大阪2018連携事業スペシャルツアー「日本建築協会Presents!船場・堺筋を歩く」を10月27日(土)に開催した。
- 7月21日(土)から9月2日(日)まで大阪市立住まいのミュージアム(大阪くらしの今昔館)で開催された大阪市中心公会堂開館100周年記念特別展「大大阪モダンイズムー片岡安の仕事と都市の文化」に協力した。
11. 工事請負契約約款事業
民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会に委員を派遣するとともに、引き続き「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間(旧四会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約書類(書式・約款)」、「民間(旧四会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」、「民間(旧四会)連合協定マンション修繕工事請負契約約款 契約書関係書式」を販売した。
- 現在販売している4つの約款・書式の説明用パンフレットが約款委員会から発行され、販売窓口等で配布し、約款の周知、啓発に努めた。
12. 役員派遣
大阪商工会議所に2号議員として役員1名を派遣した。
- (一財)大阪建築防災センターに監事として役員1名を派遣した。
- | Ⅱ 支 部 |
|-------|
|-------|
- [中国支部]
◎役員会等の開催状況
1. 総会、常議員会、幹事会の開催
定時総会 平成30年5月14日(月)
- ①平成29年度事業報告
②平成29年度収支決算報告及び監査報告
③平成30年度事業計画(案)
④平成30年度収支予算(案)
⑤役員改選(案)
⑥建築施工技術研究委員会活動報告
- 第1回 常議員会 平成30年4月23日(月)
- ①平成29年度事業報告
②平成29年度収支決算報告及び監査報告
③平成30年度事業計画(案)
④平成30年度収支予算計画(案)
⑤役員改選(案)
⑥建築施工技術研究委員会活動報告
⑦平成30年度支部総会開催(案)
- 第1回 幹事会 平成30年7月17日(火)
- ①平成30年度中国支部総会報告
②本部平成30年度通常理事会・総会・臨時理事会報告
③若手・新入社員技術講習会報告
④中堅社員技術講習会
- 第2回 幹事会 平成30年12月5日(水)
- ①本部通常理事会支部長会議報告
②平成30年度中堅社員技術講習会報告
③実務講習会
④平成31年度施工技術研究委員会活動報告(研修スケジュール等)
⑤中国支部設立70周年
⑥新規入会促進
- 第3回 幹事会 平成31年3月19日(火)
- ①平成30年度建築工事実務講習会報告
②平成31年度総会・常議員会
③平成30年度決算(案)・31年度予算(案)
④平成31年度施工技術研究委員会活動(研修スケジュール・研修内容等)
⑤70周年記念事業
- ◎事業の執行状況
1. 若手・新入社員技術講習会の開催
6月6日(水)実施。参加者は32名。
- ①若手・新入社員の心構え
講師：尾野本 悟(広島工業大学教授)
- ②型枠支保工の構造計算入門
講師：川上 善嗣(広島工業大学准教授)
- ③初歩の積算
講師：八道 憲一(鹿島建設(株)中国支店次長)
- ④準備・仮設工事の工事管理
講師：前島 陽志(株)大林組広島支店建築工事部技術課副課長)
- ⑤交流会
2. 中堅社員技術講習会の開催
10月3日(水)実施。参加者は48名。
- ①鉄骨工事の品質管理
講師：山西 央朗(広島工業大学助教授)
- ②建設業法を遵守するために
講師：尾野本 悟(広島工業大学教授)

- ③建設現場の法令違反
講師：藤田 伸介（藤田労働安全コンサルタント事務所所長）
- ④内装工事のトラブル予防
講師：佐藤 岩夫（全国表具経師内装組合連合会会長）
- ⑤交流会
3. 建築工事実務講習会の開催
2月14日（木）実施。参加者は39名。
- ①施工計画
講師：井上 昇（清水建設㈱広島支店グループ長）
- ②仮設見積
講師：尾野本 悟（広島工業大学教授）
- ③積算業務
講師：八道 憲一（鹿島建設㈱中国支店次長）
- ④交流会
4. 工事請負契約約款事業
「民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間（旧四会）連合協定小規模建築物・設計施工一括用工工事請負等契約書類（書式・約款）」、「民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）」、「民間（旧四会）連合協定マンション修繕工事請負契約約款 契約書関係書式」を販売した。

〔東海支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、常議員会、幹事会の開催

- 定時総会 平成30年6月8日（金）
- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
 - ②平成30年度事業計画・収支予算計画
 - ③役員改選
 - ④支部総会

第1回 常議員会 幹事会 平成30年4月16日（月）

- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
- ②平成30年度事業計画・収支予算計画
- ③平成30年度次期役員会構成
- ④総会当日の段取り
- ⑤各常置委員会活動報告

第2回 常議員会 幹事会 平成30年5月22日（火）

- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
- ②平成30年度事業計画・収支予算計画
- ③平成30年度次期役員会構成
- ④総会当日の段取り
- ⑤各常置委員会活動報告

第3回 常議員会 幹事会 平成30年6月8日（金）

- ①平成30年度支部総会
- ②平成29年度事業報告・収入支出決算
- ③平成30年度事業計画
- ④当日の段取り

第4回 常議員会 幹事会 平成30年7月4日（水）

- ①平成30年度定時総会収支
- ②平成30年度常置委員会構成
- ③各常置委員会活動報告

第5回 常議員会 幹事会 平成30年8月20日（月）

- ①平成30年度常置委員会構成
- ②各常置委員会活動報告

第6回 常議員会 幹事会 平成30年9月20日（木）

- ①2018年度会員名簿前段資料
- ②平成30年度常置委員会構成
- ③支部復活60周年記念事業
- ④上半期事業報告
- ⑤各常置委員会活動報告

第7回 常議員会 幹事会 平成30年10月24日（水）

- ①建築と社会2019年3月東海特集号
- ②支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ③各常置委員会活動報告

第8回 常議員会 幹事会 平成30年11月15日（木）

- ①建築と社会2019年3月東海特集号
- ②支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ③各常置委員会活動報告（青年技術者交流会報告他）

第9回 常議員会 幹事会 平成30年12月5日（水）

- ①建築と社会2019年3月東海特集号
- ②支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ③各常置委員会活動報告

第10回 常議員会 幹事会 平成31年1月24日（木）

- ①建築と社会2019年3月東海特集号
- ②平成31年度事業計画
- ③平成30年度決算見込み、平成31年度予算
- ④支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ⑤各常置委員会活動報告

第11回 常議員会 幹事会 平成31年2月5日（火）

- ①建築と社会2019年3月東海特集号
- ②平成30年度決算見込み、平成31年度予算
- ③支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ④各常置委員会活動報告

第12回 常議員会 幹事会 平成31年3月6日（水）

- ①平成31年度事業計画
- ②平成30年度決算見込、平成31年度予算審議
- ③内部監査
- ④平成31年度支部役員・委員会人事
- ⑤平成31年度支部総会案内
- ⑥支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ⑦各常置委員会活動報告

2. 常置委員会の開催

総務、編集、会員、事業、研修、青年の6つの委員会を設置して支部運営を行っている。

(1) 総務委員会

平成30年度総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに支部復活60周年記念事業実施に向けた事前検討等で6回開催した。

(2) 編集委員会

「東海の建築」第86号構成・手配及び「建築と社会」東海特集号編集内容打合せのため2回開催した。

(3) 会員委員会

会員名簿、協賛会社名簿手配、確認のため4回開催した。

(4) 事業委員会

研修旅行、来期海外研修旅行、現地集合見学会の打ち合わせを3回開催した。

(5) 研修委員会

建築工事実務講習会日時、講師検討・手配準備、講師打合せ、講習会開催後の反省会の準備のため4回開催した。

(6) 青年委員会

30代の若手設計者の意見交換会「納マリ倶楽部」を4回開催。若手による支部活動の活性化を図っている。

◎事業の執行状況

1. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業

「東海の建築」第86号執筆。12月1日（土）発行。「建築と社会」東海特集号の執筆。

2. 見学会の実施

11月22日（木）～25日（日）上海・杭州研修旅行を実施。参加者は21名。

3. 講演会の開催

6月8日（金）の定時総会後に開催。参加者は40名
講師：尾形一郎氏 尾形優氏（建築家・写真家）
演題：「[UNMANNED] 映像と建築」

4. 建築工事実務講習会の開催

1月23日（水）名古屋商工会議所に開催。参加者は40名。

①施工計画

講師：日吉智紀（清水建設名古屋支店）

②仮設見積

講師：相原仁史（大林組名古屋支店）

③積算業務

講師：木原 陽（竹中工務店名古屋支店）

5. 支部会員名簿の発行

11月30日（金）に東海支部会員名簿2018年度版を発行した。

6. 会員交流会の実施

青年技術者表彰者を招いての交流会及び団体会員による最新技術の紹介を行った。

7. 「建築と社会」3月号 東海特集の編集事業

平成31年3月号の企画、編集を担当。タイトルは「[社会と建築]という流れ」とした。

特集Ⅰでは、「建築がつなぐ都市、地域、まちの記憶（第2回）」として三重県大台町・「大杉谷自然学校」をベースに、廃校活用の実態と地域の記憶を未来へ刻むと題してまとめた。また特集Ⅱでは、若手設計者の意見交換会「納マリ倶楽部」の活動記録を紹介した。

作品作風：東海4県下などの建築作品9点
スケッチブック：支部会員作品8点
東海の建築：屋根 4点

東海支部だりとして、「上海・杭州建築の旅」を紹介した。

8. 建築関係団体との交流、連携

- ・建築八団体（愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設計監理協会、日本建築協会東海支部）連絡協議会に6回出席した。
- ・1月11日（金）に八団体共催の新年互礼会を「名古屋国際ホテル」で開催。
- ・中部建築賞協議会に協力し中部建築賞を運営。

〔京都支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会の開催

定時総会 平成30年7月25日（水）

- ①平成29年度事業報告・収支決算報告
- ②平成30年度事業計画・収支予算計画

第1回 常議員会 平成30年4月5日（木）

①新年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌の編集テーマ・担当者

第2回 常議員会 平成30年5月11日（金）

①新年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌の編集テーマ・担当者

第3回 常議員会 平成30年6月15日（金）

①新年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌の編集テーマ・担当者

第4回 常議員会 平成30年9月19日（水）

①新年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌の編集テーマ・担当者

第5回 常議員会 平成30年10月30日（火）

①新年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌の編集テーマ・担当者

第6回 常議員会 平成30年11月19日（月）

①平成30年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②支部設立70周年記念誌協賛広告依頼・原稿依頼

第7回 常議員会 平成30年12月21日（金）

①平成30年度事業計画（隔月実施のセミナー）のテーマと担当者

②平成31年度隔月セミナーの企画

③支部設立70周年記念誌広告・原稿の状況

第8回 常議員会 平成31年1月22日（火）

①平成31年度隔月セミナーの企画

②支部設立70周年記念誌の報告

第9回 常議員会 平成31年2月19日（火）

①平成31年度隔月セミナーの企画

②本隆寺修理現場見学研修会

③都市の緑の育成管理勉強会

第10回 常議員会 平成31年3月19日（火）

①平成31年度隔月セミナーの企画

②会員増強

③70周年特集号と今後の特集

◎事業の執行状況

1. 講演会、見学会、勉強会の実施

①「木造の架構とディテール」勉強会を5月18日（金）に実施。参加者 8名。

②「渡辺安人氏（カラープランナー）講演会」を7月20日（金）に実施。参加者16名。

③「海外に広がる日本の庭園文化」勉強会を8月31日（金）に実施。参加者 6名。

④「歴史的建造物の修理についてー伝統工法の理解と応用ー」勉強会を11月16日（金）に実施。参加者 14名。

⑤「京都のまちの色についてー景観を色で考えるー」勉強会を1月18日（金）に実施。参加者 7名。

⑥「本隆寺本堂保存修理工事現場」見学会を2月21日（木）に実施。参加者15名。

⑦「都市の緑の育成管理」勉強会を3月15日（金）に実施。参加者7名。

2. 2級建築士受験講習会の開催

京都府建築士会共催「製図（基本・応用）」7月8日（日）～9月2日（日）

受講者：20名

①2級受験講習会 製図（基本）2日間
講 師：福井基文／福井一級建築士事務所
京都府建築士会事業委員会委員

②製図（応用）延べ6日間
講 師：福井基文／福井一級建築士事務所
京都府建築士会事業委員会委員

3. 工事請負契約約款事業

「民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間（旧四会）連合協定小規模建築物・設計施工一括用工工事請負等契約書類（書式・約款）」、「民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）」を販売した。

4. 建築関係団体との交流

- ①日本建築家協会近畿支部主催のJIA近畿支部大会2018滋賀大会への後援、及び交流パーティへ出席。
- ②隔月実施のセミナーを「JIA京都地域会」と共催。